

常任委員会事務調査報告

総務企画常任委員会

委員長 岩村 文郎

デマンド型タクシーの運行を調査（1月22・23日）

「千葉県酒々井町」

巡回・デマンド複合型の新総合交通システムとして平成16年度に本格運行を開始した酒々井町を訪問しました。

この町の交通システムは、国交省のモデル実験事業の採択を受けたNTT回線を利用したシステムで、ジャンボタクシー（10人乗）2台と小型バス（15人乗）2台を「しずいふれ愛タクシー」の名称で運行し、町社会福祉協議会が運行主体となっています。

特徴として、インターネットやモード、Lモードから24時間、365日予約・受付が可能であり、予約者には迎えの到着時刻を事前通知するシステムが取り入れられています。また、自宅から目的地までの送迎サービスを行うデマンドタクシー機能とスクーラバス機能を併せ持った運行を行っています。

「茨城県神栖市」

高齢者など交通弱者の日常



しずい ふれ愛タクシー

における移動手段の提供を目的として、セタン型乗合デマンドタクシーを運行（平成20年度本格運行開始）している神栖市を訪問しました。

特徴として、NTTシステムと異なったタクシーシステムを取り入れ、タクシー事業者5社（9台）によって市内を4エリアに分割して目的地限定による効率的な運行を行っており、市商工会が運営主体となっています。

いずれの市町も運行開始時から利用者が増加しており、今回の調査を参考に、当委員会においても当町にあった公共交通のあり方を研究していきたいと思えます。

教育民生常任委員会

委員長 阿久津武之

産業廃棄物最終処分場（新潟県出雲崎町）と町立美術館（福島県柳津町）の運営を調査（11月27・28日）

「エコパークいずもざき」

平成11年4月に供用を開始した新潟県の事業団が管理運営を行う管理型最終処分場を訪問しました。

この処分場は、環境保全と健全な産業経済の発展を基本理念とし、地域住民との信頼関係を保持するため、施設運営のありのままの姿を住民に公表することを最優先としたガラス張りの事業運営を行っています。

廃棄物の受入れは県内発生分のみとし、年間10万トンの廃棄物処理を行っています。施設概要は次のとおりです。

敷地面積 58・6 ha
埋立面積 9・8 ha
埋立容量 148・4万m³

「齋藤清美術館」

平成9年に開館した地域密着型の町立美術館を訪問しました。

入館者は開館当初、年間約5万人でありましたが、現在は3万人弱まで減少しています。運営は学芸員1名を含め

た3名の職員で行われており、運営費の7割を入館料、関連グッズ販売などで賄っているとのことでした。

今回調査をしました事例を今後、当町の県営産廃最終処分場の問題や馬頭広重美術館の運営にどのように活かせるかを研究していきたいと思えます。



エコパークいずもざき水処理施設内部

また、12月15日、(財)栃木県学校給食会と南那須学校給食センターを訪問し、学校給食のあり方等を調査しました。

産業建設常任委員会

委員長 橋本 操

当町でも進めているイノシシ処理加工施設の先進例と都市との交流、企業誘致対策、議会地域活性化の取組みなど

について群馬県内の2町を調査（11月13・14日）

「群馬県中之条町」

群馬県の北西部、新潟県境に位置し、人口17,252人、世帯数6,113世帯の山林に囲まれた町です。

当地区はイノシシ被害が深刻であり、その被害対策で捕獲されたイノシシの肉を利用し、地域の活性化を図るべく、吾妻郡広域7町村により建設されたもので、運営はJA沢田が行っています。処理肉は「あがしし君」のブランドで精肉や加工肉の生産販売を行っています。

都市との交流では、東京都北区民を対象に「親子ふるり体験ツアー」等を実施し、ジャガイモ収穫、川遊び、昆虫採集、そば打ち体験、町有パンガローでの宿泊を行い、体験を通じ親子や家族の絆を強められたことなどにより、リピーターが増えたそうです。

「群馬県東吾妻町」

人口16,992人、世帯数5,782世帯で中之条町の南隣に位置しています。

都市との交流では、東京都杉並区と友好協定を結び相互の事業に参加して交流を深めています。また、企業誘致も早くから進められ、工場の新

設・増設の際の奨励金交付などのほか、企業立地促進法による誘致も検討しています。議会では、地域活性化対策特別委員会（9名）が設置され、「都市計画事業」「上信自動車道建設事業」「地域開発事業」「地域振興」など、地域にあった活性化策や振興策について調査研究されています。

当委員会においても、今回の調査事項を、今後の町の振興にどのように反映できるか研究していきたいと思えます。



イノシシ処理加工施設にて

●表紙写真
撮影 写真家 薄井 裕氏
（白久）
タイトル 「厳冬の朝」
撮影場所 那珂川町 吉田地内

平成21年第1回臨時会

2月5日、平成21年第1回那珂川町議会臨時会が開催され、次の議案が審議されました。

契約締結

◆小川地区ケーブルテレビ施設整備工事請負契約の変更

（全員賛成 原案可決）
平成20年第5回議会臨時会（8月）において議決した工事請負契約を変更するもので、サービス区域の拡張によるものです。
変更後の契約金額
5億1,399万6千円
変更による増額
1,241万1千円

契約の相手 宇都宮市 NEC
ネットエスアイ(株)宇都宮営業所

議会広報特別委員会

町民の皆様にはわかりやすい、親しみの持てる議会たよりの発行と、より良い広報活動を行うために、所管事務調査として1月14日に茂木町議会を訪問し、広報・広聴の取組みについて調査を行いました。

地域振興策に関する調査特別委員会

11月25日に第3回の特別委員会を開催し、現在の町全体の地域振興策の調査と今後の取り組みについて検討を行いました。

議会会議録の閲覧

議会の会議録は、議会事務局及び町図書館で閲覧できます。

ホームページ

那珂川町ホームページに議会の会議日程及び会議結果を掲載しています。是非ご覧下さい。
URL <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp>

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

3月定例議会（平成21年第2回那珂川町議会定例会）は、3月5日開会の予定です。議場は、小川庁舎3階です。

3月議会の一般質問から一問一答方式が試行導入されます。

編集後記

▽ 新しい年を迎える直前に「新しい村」の報道を目と耳にして思い出したことがあります。青春時代に親しんだ某作家の「新しい村」の実践でした。この村は、白樺派の一人で人道主義に立った作家の「理想郷」を指すものであったと思います。

▽ 現在の「新しい村」は、不況の中で「派遣切り」「期間工員切り」などによって短期間のつちも職も住まいも失ったために、東京の日比谷公園内に数百人の人たちが「年越し派遣村」を作ったものでした。ここには正に「人道主義」に立った全国からの支援が寄せられ、当町からも白米を送ったという人の話も聞きました。

▽ アメリカのサブプライムローンに端を発した金融危機により世界経済が急激に悪化し、日本経済と国民生活にも大きな影響を及ぼしています。那珂川町においても例外ではありません。

▽ この時にこそ、私たち議会は、町民の皆さんの負託に応え、この暴風雨から町を守るために各分野で全力を尽くしていかなければならないと思います。

議会広報特別委員会委員

大森 富夫